

## ズッキーニ (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ベ と 病	灰 色 か び 病	う ど ん こ 病	菌 核 病	軟 腐 病	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	フ キ ノ メ イ ガ	オ オ タ バ コ ガ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ
ズボルドー水	M1		-	-					◎							
ハツバ乳	NC		-	-			◎									
バイオキパー水	-		*d	-					◎							
マスタピース水	-		1	-					◎							
トップジンM水	1		1	3			◎									
ベンレート水	1		1	3				◎								
アフエットFL	7		1	3			◎									
アミスター20FL	11		1	4			◎									
ストロビーFL	11		1	3			◎									
ランマンFL	21		1	4	◎											
ロブラール水	2		1	4		◎										
サンヨール乳	M1		1	4			◎									
ヨネボン乳	M1		1	4	◎											
ダコニール1000FL	M5		1	3			◎									
ゲッター水	1・10		7	3		◎										
パンチョT F 顆水	3・U6		1	2			◎									
スピノエース顆水	5		1	3								◎				
ネマトリンエース粒	1B		*b	1												◎
アディオン乳	3A		7	3						◎				◎		
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	4A		1	2						◎						
アルバリン粒 スタークル粒	4A		*a	1						◎	◎					
			*c	1						◎						
ベストガード粒	4A		*a	1								◎				
アフアーム乳	6		3	2											◎	
チェス顆水	9B		1	2						◎						
カスケード乳	15		1	4									ト			
モベントFL	23		1	3						◎	◎					
プレバゾンFL 5	28		1	3									◎			
ウララDF	29		1	2						◎						

\*a:定植時 \*b:定植前 \*c:生育期(但し収穫開始14日前まで)

\*d:発病前～発病初期

ト:トマトハモグリバエ

## ズッキーニ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ドイツボルドーA(水)* 500～1000倍 Zボルドー(水)* 500倍	*野菜類での登録。薬害回避のため試し掛けする。
うどんこ病	生育期	・発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 イオウフロアブル* 500～1000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 トップジンM水和剤● 1500倍 パンチョT F 顆粒水和剤● 4000倍	●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。 *野菜類での登録。薬害回避のため試し掛けする。
モザイク病		・アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。	
アブラムシ類	定植時	・次の薬剤のいずれかを植穴に土壌混和する。 アルバリン粒剤 2g/株 スタークル粒剤 2g/株	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍	
タバココナジラミ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 モベントフロアブル# 2000倍	#コナジラミ類での登録
アザミウマ類	定植時	・次の薬剤を植穴に土壌混和する。 ベストガード粒剤 1～2g/株	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スピノエース顆粒水和剤 5000～10000倍	
フキノメイガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍	
オオタバコガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アフファーム乳剤 2000倍	
ネコブセンチュウ	定植前	・次の薬剤を全面施用して土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤 20kg/10a	